T-030980C51

劣化表示付電源用保安器
MZ-200JK「　」形

取　扱　説　明　書

株式会社サンコーシヤ

劣化表示付電源用保安器 MZ-200JK「」形取扱説明書

１．機能・特徴

本製品は、JIS C 5381-1:2004（IEC 61643-1：1998）の直撃雷サージ(クラスⅠ)、誘導雷サージ電流（クラスII）試験に適合した製品です。AC255V までの電源回路に誘起される異常電圧から、電源機器を保護するための SPD です。

２．仕様

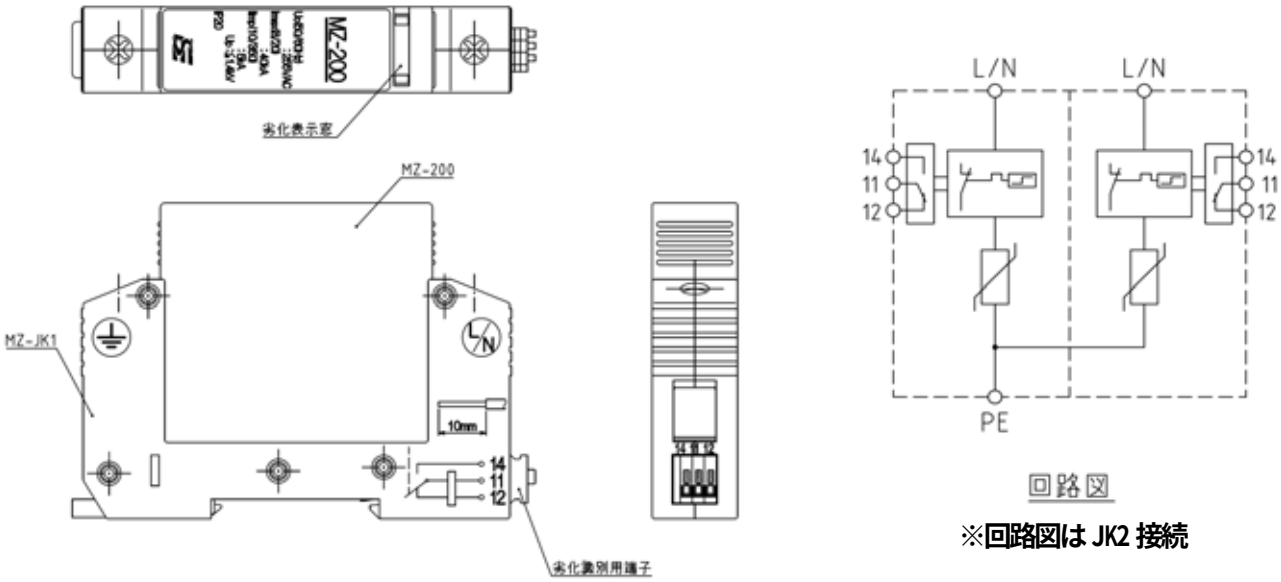
本製品の仕様を表１に示します。

表１

項　目			測定条件	性　能
1．試験クラス分類				クラスⅠ,II
2．最大連続使用電圧 U_c				255V(50/60Hz)
3．漏れ電流 I_{PE}			DC360V	20μA 以下
4．インパルス電流 I_{imp}			10/350μs	5kA
5．最大放電電流 I_{max}			8/20μs	40kA
6．公称放電電流　I_n			8/20μs	20kA
7．電圧防護レベル U_p			JIS に基づく	1.4kV 以下
8．応答速度				3ns 以下
9．劣化識別用端子	正常時		11－12 間	短絡
			11－14 間	開放
	劣化時		11－12 間	開放
			11－14 間	短絡
	定格			DC 30V　50～500mA

３．外観および寸法

本製品の外観図を図１に示します。



※回路図は JK2 接続

図１

4．取り付け方法

DIN レール（35㎜ 幅）に取り付ける場合、以下の手順で固定してください。

[取り付け方]

A 部を DIN レールの端に引っ掛け、
B 方向へ押し込んでください。

[取り外し方]

C 部にマイナスドライバー等を差し込み、
D 方向に引きながら E 方向に保安器を外してください。

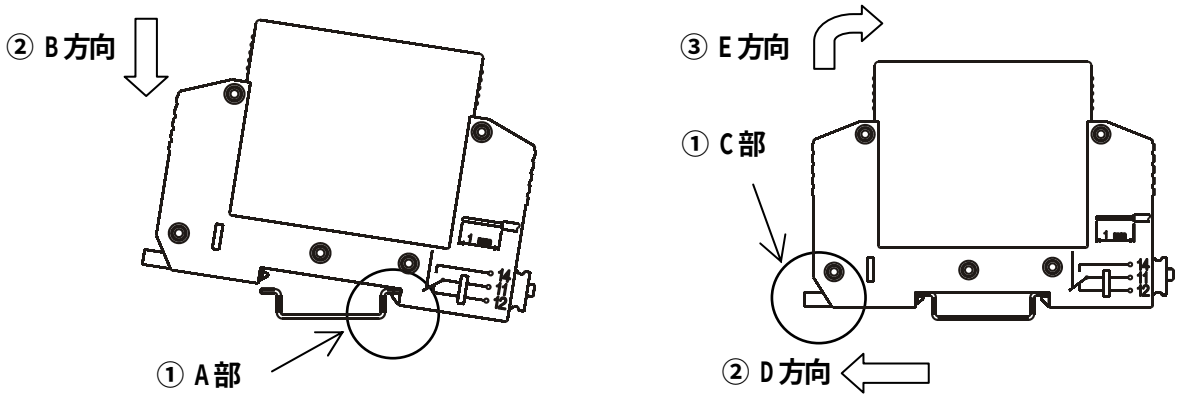


図 2

5．接続（配線）方法

本製品の接続（配線）方法は次の順序に従って操作して下さい。（図１および実物参照）

(1) ケーブル導入孔に接続するケーブルは締付けねじで固定してください。
（推奨締付トルク： 1.47 N・m～2.0 N・m）

(2) 接続するケーブルは AWG14～8　断面積 1.6～8㎟、故障表示端子用ケーブルは単線 AWG28～AWG22、撚線 AWG28～AWG22、素線径φ0.12㎜ 以上（推奨）を使用してください。

（注）電源引き込みケーブルは電源側端子（L/N 側）に接続してください。

（注）ボンディング用導体（接地線引き込み線）は接地側端子（⏚側）に接続してください。

（注）過度の締め付けはケース等に歪みが生じ、破損原因となりますのでご注意ください。

（注）配線を取り外す時は締め付けねじを緩めて行って下さい。

6．接続例

単相2線式の例

図 3

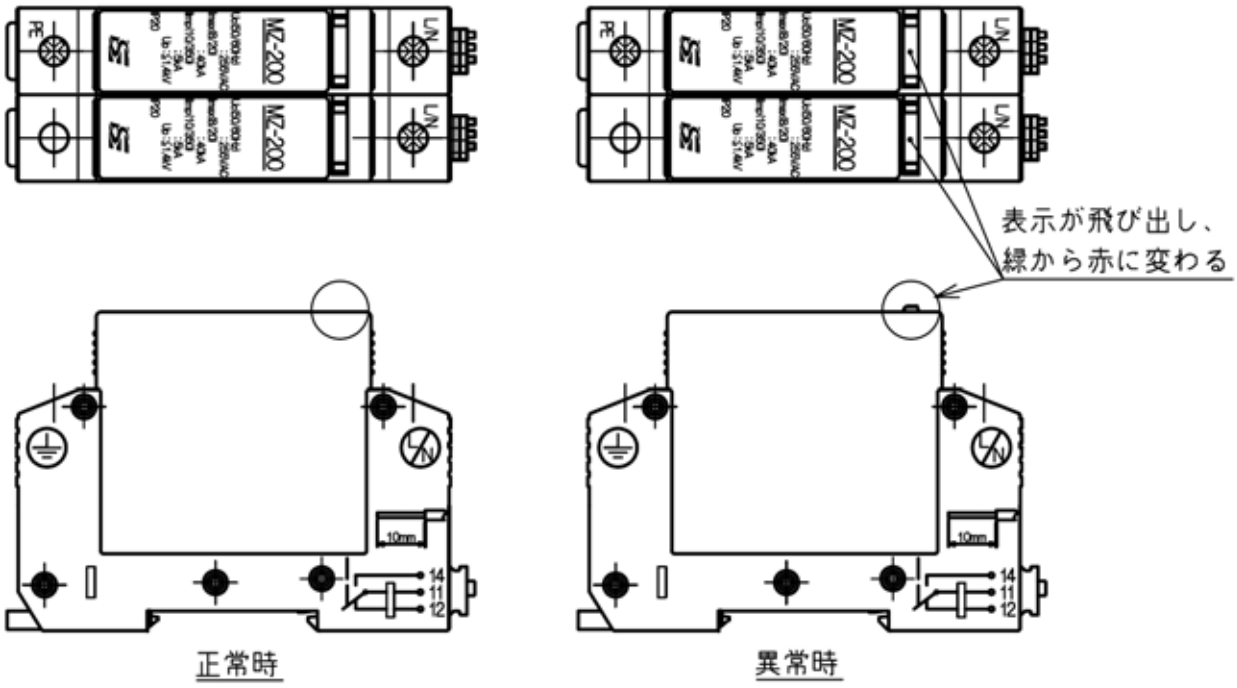
7．保守点検

保安器の設置・配線後は端子部に緩みがないことを確認してください。
本保安器は特別な保守を必要としませんが、1 年に 1～2 回程度は下記の点検を行ってください。
点検の際には感電防止のためブレーカ・漏電遮断器等を切り、確実に安全な状態で作業を行ってください。

(1) 目視により劣化表示部から表示を確認。

(2) 劣化識別端子にてテスター等により導通確認、およびリレー接点渡しの遠隔モニターが可能になります。
正常時：劣化識別用端子　番号 11－12　短絡
劣化識別用端子　番号 11－14　開放
劣化時：劣化識別用端子　番号 11－12　開放
劣化識別用端子　番号 11－14　短絡

(3) 劣化表示動作状態は以下の図 4 のようになります。



劣化表示の表示・状態図

図 4

（注）保安器の接地端子が必ず接地されていることを確認してください。接地されていない場合には保安器としての機能が損なわれます。
（注）点検時に保安器劣化が確認されたら直ちに新品と交換してください。ケースを外したり分解しないでください。劣化の原因が正確に把握できなくなる事があります。

8．保証

本製品の保証期限はご納入日より 1 年です。この間に発生した故障は、原因が明らかに当社の責任と判断された場合に限り良品と交換いたします。

9．使用上の注意

使用上、重要な内容ですので、よくお読みの上、必ずお守り下さい。

禁止	本製品の使用目的以外での使用は絶対しないで下さい。 ◇故障の原因となります。
禁止	本製品は屋内用で非防水です。屋外などの水が直接当たる場所での使用はできません。 ◇故障の原因となります。
禁止	本製品を分解、加圧変形、使用環境以上の加熱、改造または部品を変更して使用しないで下さい。 ◇故障の原因となります。
禁止	操作時に端子間に異物が侵入することや、端子部分には直接手で触れることがないようにしてください。 ◇故障、感電の原因となります。
禁止	本製品を水、シンナー等の溶剤で拭いたり、かけたりしないで下さい。 ◇変形や割れ、故障の原因となります。
禁止	本製品には、落下等による衝撃を与えないで下さい。 ◇損傷、故障の原因となります。
禁止	配線した電線及び本製品にストレスをかけないで下さい。 ◇故障の原因となります。
注意	本製品のご使用にあたり AC 過負荷電圧を受けた場合、短絡故障する恐れがありますので、 ヒューズまたはブレーカを組み合わせてご使用ください。 ◇故障の原因となります。
注意	本製品の汚れは、柔らかい布等で拭いて下さい。 （水洗いは絶対にしないで下さい）
注意	保安器への装着は取扱説明書をよく読んでから行って下さい。 ◇変形、割れ、故障の原因となります。
注意	保安器の劣化が確認された場合、保安器としての機能はありませんので、新しい保安器と交換してください。 ◇お客さまの装置を保護できません。

株式会社サンコーシヤ　本社・支店所在地一覧

本　　社	〒141-0032	東京都品川区大崎 4-3-8	TEL(03)3491-7181
北海道支店	〒060-0062	北海道札幌市中央区南二条西 10-1-4（第 2 サントービル 7F）	TEL(011)271-0050
東北支店	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町 2-7-12（住友仙台一番町ビル 7F）	TEL(022)223-8131
中部支店	〒460-0009	愛知県名古屋市中区栄 2-11-7（伏見大島ビル 8F）	TEL(052)204-3020
関西支店	〒530-0051	大阪府大阪市北区太融寺町 2-22（梅田八千代ビル 5F）	TEL(06)6361-7801
中国支店	〒730-0012	広島県広島市中区上八丁堀 3-5（池尻ビル 3F）	TEL(082)222-8210
九州支店	〒810-0004	福岡県福岡市中央区渡辺通り 4-2-27（立石ビル 3F）	TEL(092)715-6622
四国営業所	〒760-0062	香川県高松市塩上町 1-4-8（鶴尾ビル 1F）	TEL(087)331-9188
相模テクノセンター	〒229-1112	神奈川県相模原市宮下 1-1-12	TEL(042)772-3111